

令和5年度かんきょう観察報告書より抜粋

II. 自由研究

毎年、かんきょう観察員が自然環境等についてご自分で興味を持ったことを自由に研究し、報告してくださっています。

今年度は、7名のかんきょう観察員の方から、レポートをお寄せいただきました。以下は、自由研究テーマの一覧です。

表 2-6 令和5年度 かんきょう観察員 自由研究テーマ一覧（敬称略・50音順）

氏名	令和5年度自由研究テーマ	Webページ
筏井 洋之	板橋区のおサムシ類とその周辺の甲虫目の一年間 -2023年-	2
遠藤 周次	住宅(南町住宅)に飛来する鳥	4
黒木 満生	「板橋区平和公園・へいわ池 カモの飛来数調査」	5
佐藤 滋子	①高島平緑地帯を歩く 楠の木のまわりの小さな花園 ②黄金絹傘茸	8
中嶋 都子	1本のコットンの木から収穫できる量	10
西村 昭彦	散歩の途中で目にした熱帯性の草花たち(終)	12
並木 正樹	都立赤塚公園(城址地区)の樹木マップ	14

レポートはかんきょう観察員の方々からいただいたものを原文のまま掲載しております。なお、掲載の都合上、いただいたレポートの一部を割愛させていただいている箇所もあります。

原本は、エコポリスセンター1階「環境情報資料室」で自由に閲覧できますので、ぜひご覧ください。

「板橋区のおサムシ類とその周辺の甲虫目の一年間 -2023年-」

筏井 洋之

テーマ	板橋区のおサムシ類とその周辺の甲虫目の一年間 -2023年-		調査日	2023年4月10日~9月11日	
<p>昨年は甲虫目のテントウムシ科とハムシ科を報告しました。今年も板橋区のおサムシ類とその周辺の甲虫目を一年間観察しました。観察地域は昨年と同じく西台公園とその周辺、徳丸地区、赤塚公園とその周辺です。分類は北隆館の「新訂原色昆虫大図鑑 第II巻(甲虫篇)」(2007年初版)に基づきました。オサムシ科は日本では約1,000種、ハネカクシ科は約800種、コガネムシ科は約300種、コメツキムシ科は約500種、ゾウムシ科は500種以上が報告されています。糖蜜あるいは新鮮な肉の入った容器を使ってこまめに採集しました。</p>					
種番号	亜目	上科	科	種名(和名)	見つけた場所
271	オサムシ亜目	—	オサムシ科	ハナトゲナガゴジムシ	肉, 糖蜜
278				ベーツナガゴジムシ	肉
293				オクロツヤヒメゴジムシ	肉, 糖蜜
307				セアカヒメゴジムシ	肉, 糖蜜, 石の下
351				マルカダゴジムシ	肉
363				ゴジムシ	肉, 糖蜜
381				ケウスゴモクムシ	肉, 糖蜜
389				ハコダテゴモクムシ	肉
391				ツヤアオゴモクムシ	肉
394				アカアシマルカダゴモクムシ	糖蜜
395				マルカダゴモクムシ	糖蜜, 石の下
424				アトワアオゴジムシ	肉
460				トゲアトキリゴジムシ	肉, 糖蜜
831	カブトムシ亜目	ハネカクシ上科	シテムシ科	オオヒラタシテムシ	糖蜜
1033			ハネカクシ科	ヒラタコガシラハネカクシ	肉
1046				アカハハネカクシ	肉, 糖蜜
1052				クロサビイロハネカクシ	肉
1208		コガネムシ上科	センチコガネ科	センチコガネ	糖蜜, 切り木の下
1234			コガネムシ科	マメダシマコガネ	糖蜜, 肉
1239				ツヤエンマコガネ	肉, 糖蜜
1245				コブマルエンマコガネ	糖蜜
1246				クロマルエンマコガネ	肉
1318				ヒメビロウトコガネ	ハナツツクバネウツギ
1319				ビロウトコガネ	糖蜜
1362				マルオフロコガネ	糖蜜
1367				オオフロコガネ	糖蜜
1377				コフキコガネ	肉
1661		コメツキムシ上科	コメツキムシ科	サビキコリ	糖蜜, 肉
1667				ハマビメサビキコリ	糖蜜, 肉
2131		ヒラタムシ上科	ケシキスイ科	アカマダラケシキスイ	糖蜜, 肉
2132				オシモンコケシキスイ	肉, 糖蜜
2477		ゴジムシ上科	ゴジムシ科	スナゴジムシ	肉, 糖蜜
3938		ゾウムシ上科	ゾウムシ科	スナグリヒョウタンゾウムシ	糖蜜, 肉
3945				ウスアオビゾウムシ	糖蜜
3957				ヤサイゾウムシ	糖蜜
4172			オサゾウムシ科	コクゾウムシ	糖蜜

テーマ	板橋区のオサムシ類とその周辺の甲虫目の一年間 - 2023年 -	調査日	2023年 4月10日 ~ 9月11日		
			種番号	科	目
	2023年 4月10日	20	271		
	4月17日	21	278		
	5月7日	27	293		
	5月11日	4	307		
	5月12日	12	311		
	5月16日	16	313		
	5月17日	17	315		
	5月25日	25	316		
	6月5日	16	317		
	6月19日	19	318		
	7月10日	21	319		
	8月7日	25	320		
	9月11日		321		
			322		
			323		
			324		
			325		
			326		
			327		
			328		
			329		
			330		
			331		
			332		
			333		
			334		
			335		
			336		
			337		
			338		
			339		
			340		
			341		
			342		
			343		
			344		
			345		
			346		
			347		
			348		
			349		
			350		
			351		
			352		
			353		
			354		
			355		
			356		
			357		
			358		
			359		
			360		
			361		
			362		
			363		
			364		
			365		
			366		
			367		
			368		
			369		
			370		
			371		
			372		
			373		
			374		
			375		
			376		
			377		
			378		
			379		
			380		
			381		
			382		
			383		
			384		
			385		
			386		
			387		
			388		
			389		
			390		
			391		
			392		
			393		
			394		
			395		
			396		
			397		
			398		
			399		
			400		
			401		
			402		
			403		
			404		
			405		
			406		
			407		
			408		
			409		
			410		
			411		
			412		
			413		
			414		
			415		
			416		
			417		
			418		
			419		
			420		
			421		
			422		
			423		
			424		
			425		
			426		
			427		
			428		
			429		
			430		
			431		
			432		
			433		
			434		
			435		
			436		
			437		
			438		
			439		
			440		
			441		
			442		
			443		
			444		
			445		
			446		
			447		
			448		
			449		
			450		
			451		
			452		
			453		
			454		
			455		
			456		
			457		
			458		
			459		
			460		
			461		
			462		
			463		
			464		
			465		
			466		
			467		
			468		
			469		
			470		
			471		
			472		
			473		
			474		
			475		
			476		
			477		
			478		
			479		
			480		
			481		
			482		
			483		
			484		
			485		
			486		
			487		
			488		
			489		
			490		
			491		
			492		
			493		
			494		
			495		
			496		
			497		
			498		
			499		
			500		

「住宅(南町住宅)に飛来する鳥」

遠藤 周次

テーマ	住宅(南町住宅)に飛来する鳥		調査日	R5年1月16日 R6年1月15日
<p>冬は鳥にとってはきびしい季節です。虫は少なく花や実も少なく生きていくには無視できない期間です。小生宅は1階ですのでベランダに、ヒメワリの種、リンゴ、みかん、柿等々を期間限定(12月~2月頃まで)でおおききます。2階以上の階ですと下の階の方が糞害(糞概)となりますので、いくら鳥のためとはいふ実施できませんね。</p>				
<p>都内には水鳥を除いても約30種類の鳥が生息しています。飛ぶ姿はみな異なります。黒い点の姿では見分けは無理ですが飛ぶ姿が見られる近さでは個体判別が出来ます。目の不自由な方が革化音で身近なものを認識できると似ていると思います。</p>				
<p>住宅地では一番大きい鳥はカラス(ハシブト、ハシボソ)、一番小さい鳥は目白(小笠原諸島には目黒もいます)です。山手線にも一同すると発見できます。</p>				
<p>人の世界では争(食べる以外の殺生)は絶えません。鳥のように国境がなく、うまく住み分けができるというですね。</p>				
<p>主食 → (花蜜、果物、虫等)</p>				
A 毎日くる鳥	スズメ、メジロ、シジュウカラ	(私のフトコロとビヤウ空) 主食(虫、木の実、果物等) 胸の黒いネクタイに長いオカオス		
B 週に何回か	ムクドリ、セグロセキレイ、ドバト、キジバト、カラス			
C 夏以外	ヒヨドリ	渡り鳥に分類されながら温暖化の影響が、渡らない例外もいるようです。世の中、どこにも例外があるようです。渡りに飛びます。主食(果物、花蜜、虫等)		
D 冬前後	ツグミ、カワラヒワ、ショウビタキ	(渡り鳥、ナワバリ意識が強、車のミラーに攻撃することもある)		
<p>→ 飛んでいる時の羽の黄色がステキです。色の濃い方がオス。</p>				
E 春から秋	ツバメ	数が激減、汚染された虫を食べ続けている影響大。放射能汚染も大。		
F 訪ねなかった 見逃した	コゲラ、モズ、シメ、ウグイス、ハヤブサ	シルバー人材センターで植木の仕事をしていますので、毎日の観察できていません。		
G 近隣	西光院(板橋区の七福神の一つ)にはオナガ、ホウセイイロコ、ウグイスも飛来しています。大木と樹木の多さは鳥の多さにも比例しています。			
H その他	都内は一日おきに生ゴミがあるせいか、狸、ハクビシン、3ライゲツが年々増えています。山中より快楽のようです。全国で空屋8件に1件の率			

「板橋区平和公園・へいわ池 カモの飛来数調査」

黒木 満生

テーマ	「板橋区平和公園・へいわ池」カモの飛来数調査・他	調査日	令和5年2月1日～ 令和6年1月15日
-----	--------------------------	-----	------------------------

〈はじめに〉

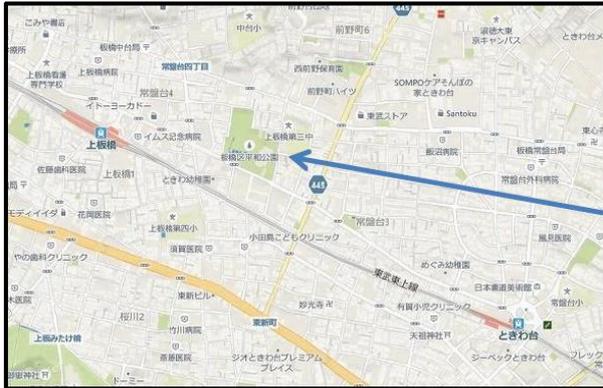
毎朝ラジオ体操でこの「板橋平和公園」に来ますが、「へいわ池」にカモが来るのでその数を記録してみたいと思いました。「へいわ池」での他の生き物の観察を兼ねています。

日/月	R5/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6/1月
1	7-1	0	2	0	0	1	9	0	4	6	2	4
2	13-1	0	2	2	—	3	2	0	2	4	3-1	10-1
3	9	0	4	2	—	3	—	0	4	8	3	11
4	12-1	0	2	1	0	3	3	1	—	4	3	10
5	5-1	0	2	3	1	2	4	—	3	6	1	11-1
6	6	2	2	2	3	—	3	0	12	2	9	11-1
7	7	2	0	—	7	6	0	0	13	—	0	5
8	16-1	0	2	1※③	4	0	0※⑥	—	14	0	1	4
9	6	2	2	2	—	2	2	0※⑩	—	2	0	8
10	0	4	0	2	2	2	0	0※⑪	6-1	3	1	11-1
11	0	0	0	1	—	3	0	—	9	10	3	7
12	0	0	0	1	—	5	0	2	6	2	—	2
13	2	2	0	1	1	2	3※⑦	3	22	8	0	5
14	0	0	1	4	4	3	0	0	5	5	3	0
15	0	2	—	—	0	3	0	0	—	6	—	9
16	0※①	2	2	4	3	4	1	4	6	4	0	
17	4	0	0	7	2	4	0	1	8	—	1	
18	4	—	0	3	1	2	1	0	6	2	8	
19	0	2※②	0	1	0	7	0	2-1※⑫	2	8	7	
20	0	2	0	—	1	6	1	0	2	11	13-1	
21	0	2	0	5	2	4	1	7	10	8	12	
22	0	0	1	3	3	8※⑤	1	—	4	0	11-1※⑭	
23	2	0	—	—	2	3	3	0	4	2	9-1	
24	0	0	0	2	2	2	0	0	3	2	4	
25	0	—	0	3※④	2	4	0	1	2	4	7	
26	0	—	—	1	0	5	0※⑧	6	6	2	12	
27	—	0	0	3	1	7	0	4	6	6※⑬	11-1	
28	2	—	2	1	3	6	0※⑨	4	4	7-1	15-1	
29		2	0	0	5	4	0	8	—	5-1	11-1	
30		2	0	2		6	0	4	12	3	11-1	
31		3		—		7	0		8		6	

- * 時間は午前6:30前後 ラジオ体操時
- * 左側・中央＝カルガモ 右側＝マガモ
- * 0＝飛来無 —＝調査無(雨とか)
- * ()は午後 体操時に雨だったりした時など

- ※①「カルガモ」が来ない日が続いている。気になる。
- ※②ラジオ体操時に「カルガモ」が交尾を始めた。桜もチラホラ咲き出した。
- ※③午後今年初めての「マガモ」が一羽で飛来した。
- ※④カルガモの「子ガモ」が一羽居た 成鳥カルガモは子ガモには関心がないようで追い払っていた。→午後子ガモを見に行らもう居なかった！ 気になる。
- ※⑤「タマムシ」の死んだのが落ちていたが、この公園でタマムシを見るのは初めて！
- ※⑥「へいわ池」のすぐ脇の笹に「ベニイトトンボ」が居た！ この場所で見るとは初めて！
- ※⑦「オオミズアオ」♀がへいわ池の近く笹の根元に居たが翅はボロボロだった。
- ※⑧今年も「サカマキガイ」が多数池の淵の石についていた。

- ※⑨ シオカラトンボの羽化直後 池の淵で羽化していた。
- ※⑩ 池の淵で「イトトンボ」が「アシナガグモ」に捕まっていた。
- ※⑪ 池の上の桐から前夜の雨風で「シモフリスズメ蛾」の幼虫が数頭池の中に落ちていた。
- ※⑫ 久しぶりに「マガモ」のオスが来た。翅の生えかわり途中だった。
- ※⑬ いつも体操をする場所に「エナガ」の巣が落ちていた。近くの「カツラ」の枝から落ちたのか？
- ※⑭ へいわ池 初水



「へいわ池」 後方は中央図書館



※④



※⑤



※⑥



※⑦



※⑧



※⑨



※⑬



※以前はこんな光景が見られた
(2014/6/14撮影)

〈おわりに〉

前年同様一年間に飛来した「カルガモ」や「マガモ」の数と「へいわ池」の様子などを記録しただけですが、カモが来ない日は公園に来る人達もさみしそうでした。小さな人工池ですが、人にもカモたちにも憩いの場になっているようです。ここ数年、「カルガモ親子」が揃って泳ぐ姿が見られないのが残念です。この年、何故か一羽だけ居た事がありました(※④)どこで産まれたのか不明ですし、その日のうちに居なくなりました。どなたかの情報をお待ちしております。

「①高島平緑地帯を歩く 楠の木のまわりの小さな花園」

佐藤 滋子

テーマ	高島平緑地帯を歩く 楠の木のまわりの 小さな花園	調査日	令和5年 6月10日 10月
 <p data-bbox="518 504 790 1422"> きらきらと輝く太陽 枯れかけた白詰草は 恵みの雨で生返り シミヨウは 蜜をもらって 青空に 舞いあがる 6月に刈り取られた エノコロ草は 8月 小さないげれど 実をつけて 又 又 又 逢 が 穂 さん だ り は ね たり し な が ら つ い ば ね 楠の木の 木に 抱かされた 小さな 世界を 私 は 見た。 この場所 だけに 草花が 咲いて いるの は な ぜ だ？ </p>			

「②黄金絹傘茸」

佐藤 滋子



「1本の Cotton の木から収穫できる量」

中嶋 都子

テーマ	1本の Cotton の木から収穫できる量	調査日	2023年8月～2024年1月
-----	-----------------------	-----	-----------------

私は、いた・エコ・ネットの Cotton 栽培のお手伝いをして、3年になります。

今シーズンは、畑に植えた苗を間引きして1本立ちにしました。そこで、1本の Cotton の木から収穫できる量を調べてみることにしました。

場所：赤塚公園内 Cotton 畑

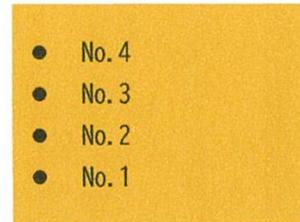
収穫期間：2023年8月17日～2024年1月12日

方法：4本の木に目印の札をつけて収穫し、その重さを量ってみました。



札 No.	収穫量(g)
No.1	30
No.2	45
No.3	70
No.4	60

(東) Cotton 畑 (西)



結果：同じ東側に植えた Cotton の木ですが収穫量に差がありました。

苗植えから木の摘芯をする頃まで畑の4カ所 (No.1 と No.4 含む) の木の高さを計測しました。その結果、同じ東側の木でも、木の成長が良かった No.4 の木の方が No.1 より収穫量が多かったです。

木の成長具合で、収穫量に差が出るのが分かりました。

反省点：初めての試みなので、正確さに欠ける調査になったかもしれません。

調べる Cotton の木の場所は、日当たり具合で収穫量が違ったかもしれないので、東側ばかりにせず場所を分散させた方が良かったかもしれません。

【参考までに】 Cotton の1年

○ 5/28 種をポットにまき、発芽した苗を畑に植える



○ 5/30



○ 7/3



テーマ

1本のコトンの木から収穫できる量

調査日

2023年8月～2024年1月

○ 7/13 の畑



○ 7/20 花



○ 8/3 コットンボール



○ 8/17 コットンボールが弾けてきました



○ 9/7 フワフワのコットン



○ 10/27 の畑



○ 1/12 の畑



○ 1/14 畑じまいの様子



? コットンって、木なの? ⇒ ⇒ 木です。

10月30日木の根元の太さを測ってみました。

7 cm ありました。



「散歩の途中で目にした熱帯性の草花たち(終)」

西村 昭彦

分類号	氏名	(自由研究のテーマ)	(調査期間)
NO 724	西村 昭彦	散歩の途中で目にした熱帯性の草花たち	5月中旬より 7月下旬

▲ 健康の維持・増進のため毎朝花散歩を欠かすようにがんばって来ましたが、1/昨年10月の半ば、卒寿(90歳)の前日に転倒。左ひざを骨折し、介護士の身体になってしまいました。現在、リハビリステーションで週2回訓練に精を出しています。

昨年より車椅子から歩行車に変わり、^{まだ}長い距離は歩けませんが毎日20分位の散歩ができるようになりました。以前からのクセで、つい草花が目につくと立ち止まる毎日です。

昨年の春から植物観察を続けています。今回は、自宅周辺で目にした植物について書いてみました。(今までの自由研究で登場していない子種)



(小茂根 1丁目)

<2022 09-10
12-13>

- 別名マンネンカともいい、南アメリカ原産の木で高さ2mほどになる。
- 小苗ほどよく開花するので鉢栽培される。
- 花は、こいびつやうすいびつものがあり、さし木でふやす。花期は主に夏秋ですが周年開花性があるとのこと。

朝の
• 5時半近く、垣根越して、なんか赤っぽい花が目につく。急いでカメラを出して、写真をとる。

後日、友人にこの花について聞いてみると、^{「植物に」}かきつけてある名刺が失っている。名前がわからぬゆえのことだった。園芸センターで鉢植えで売っていたのを発見。やっと名前がわかり、うれしかった。

サンゴバナ <キツネノマゴ科>



コエビソウ <キツネノマゴ科>

• 「この花、おもしろいから」と言葉もかけたら、「コエビソウという花よ」と教えてくれた。図鑑で調べたからグツグツという。メキシコ原産の低木状の多年草で、高さは1メートル以上になるとのこと。生け垣や鉢ものとして利用されると書いてある。

• 茎の上の方に長さ7~10cmの穂状花序をつけ、花は白い筒状で、短命だがそれを包む大きな苞は淡緑色~赤褐色で長い間、見ることができる。



(小茂根5丁目) <2020.09.30 21:13>

• 苞の形がゆでたエビの尾のように見えるまた花冠の先にのぞく(葯)の形がエビの頭部を思わせることから、和名コエビソウがつけられたといわれている。

参考までに

- 英名と *shrimpplant* (シロンプラント)
- 花が純白で、苞が淡黄緑色~黄色の園芸品種のイエローグリーンがある。^{地球の}環境化で、戸外でも、あちこちで目にする植物だった。
- ふやしきはまし木を利用とのこと。



苞

花

ヒメノウゼンカズラ <ノウゼンカズラ科>

- 南アメリカ原産の半つる性の低木で、高さは2~3mになる。葉は5~9枚の小葉からできている。
- 花は長さ5cmの筒状で、先が5裂する。冬を除き周年開花している。

• 別名はデコマリヤ。園芸品種に花が黄色のアムレカがある。

<2020.09.21 12:04>



1枚の葉



(小茂根4丁目) 自家の庭で

「都立赤塚公園(城址地区)の樹木マップ」

並木 正樹

【調査のきっかけ】

学生時代から自然や動植物に興味があったことから、これまでも図鑑と双眼鏡片手に板橋区内の公園や荒川河川敷などを散策していました。

2020年にエコポリスセンターの「かんきょう観察員」に登録した際、「赤塚公園植物モニタリング活動」の仲間に入れていただき、城址地区・大門地区の植物観察を始めました。

イチョウ・クスノキ・ケヤキ・キンモクセイといった基本となる樹木の同定は出来るものの、モクセイ科やスイカズラ科などは、活動仲間の助けを借りて調べても同定は難しいものです。若葉の芽吹きから新緑、開花から結実、そして落葉と四季が移るごとに変化していく樹木名を毎回教えてもらうのも気が引けはじめ、樹木マップの作成に挑戦してみようと調査を始めました。

もとよりパソコン操作の未熟さと植物知識の不足は否めず、満足出来るマップとはなりませんでしたが、活動仲間の助言などいただきながらなんとか作成までこぎつけることが出来ました。

皆さんが城址地区を散策する際に、樹木名の間違いなどご教示いただければ幸いです。

【マップに掲載されている樹木名】

【樹形】		【葉の付き方】
AA：常緑高木	BA：落葉高木	A：対生
AB：常緑小高木	BB：落葉小高木	B：互生
AC：常緑低木	BC：落葉低木	
	BD：落葉つる性低木	

No.	樹木名	科名	樹形	花期	葉の付き方
1	アオキ	ミズキ科	AC	3～5月	A
2	アオギリ	アオギリ科	BA	5～7月	B
3	アカメガシワ	トウダイグサ科	BA	6～7月	B
4	アキグミ	グミ科	BC	4～5月	B
5	アセビ	ツツジ科	AC	2～5月	B
6	アベリア	スイカズラ科	AC	5～12月	A
7	イチョウ	イチョウ科	BA	4～5月	B
8	イヌシデ	カバノキ科	BA	4～5月	B
9	イロハモミジ	カエデ科	BA	4～5月	A
10	ウメ	バラ科	BB	2～3月	B
11	エゴノキ	エゴノキ科	BB	5～6月	B
12	オオムラサキツツジ	ツツジ科	AC	4～5月	B
13	オニグルミ	クルミ科	BA	5～6月	B
14	カキノキ	カキノキ科	BA	5～6月	B
15	カツラ	カツラ科	BA	3～5月	A
16	カナメモチ	バラ科	AB	5～6月	B
17	カマツカ	バラ科	BB	4～5月	B
18	ガマズミ	スイカズラ科	BC	5～6月	A
19	キンモクセイ	モクセイ科	AB	9～10月	A
20	クサギ	クマツヅラ科	BB	8～9月	A
21	クヌギ	ブナ科	BA	4～5月	B
22	クリ	ブナ科	BA	6月	B
23	クロガネモチ	モチノキ科	AA	5～6月	B

No.	樹木名	科名	樹形	花期	葉の付き方
24	ケヤキ	ニレ科	BA	4月	B
25	コナラ	ブナ科	BA	4～5月	B
26	ザクロ	ザクロ科	BB	6月	A
27	サザンカ	ツバキ	AB	11～1月	B
28	サルトリイバラ	サルトリイバラ科	BD	4～5月	B
29	サワフタギ	ハイノキ科	BC	5～6月	B
30	サワラウツギ	アジサイ科	BC	5～7月	A
31	サンゴジュ	スイカズラ科	AA	6月	A
32	シダレヤナギ	ヤナギ科	BA	3～4月	B
33	シモクレン	モクレン科	BC	3～4月	B
34	シャリンバイ	バラ科	AC	4～5月	B
35	シュロ	ヤシ科	AB	5～6月	B
36	シラカシ	ブナ科	AA	5月	B
37	シロダモ	クスノキ科	AA	10～11月	B
38	ソメイヨシノ	バラ科	BA	3～4月	B
39	ソヨゴ	モチノキ科	AB	6～7月	B
40	タラノキ	ウコギ科	BC	8～9月	B
41	ドウダンツツジ	ツツジ科	AC	4～5月	B
42	トウネズミモチ	モクセイ科	BA	6～7月	A
43	ナギイカダ	キジカクシ科	AC	3～5月	A
44	ニワトコ	スイカズラ科	BC	3～5月	A
45	ハクモクレン	モクレン科	BC	3～4月	B
46	ヒイラギ	モクセイ科	AB	11～12月	A
47	ヒノキ	ヒノキ科	AA	4月	A
48	ヒメウツギ	アジサイ科	BC	5～6月	A
49	ヒメコウゾ	クワ科	BC	4～5月	B
50	ビワ	バラ科	AB	11～1月	B
51	フジ	マメ科	BD	5月	B
52	マサキ	ニシキギ科	AC	6～7月	A
53	ミズキ	ミズキ科	BA	5～6月	B
54	ムクノキ	ニレ科	BA	4～5月	B
55	ムラサキシキブ	クマツヅラ科	BC	6～8月	A
56	メタセコイア	スギ科	BA	2～3月	A
57	モクレン	モクレン科	BC	3～4月	B
58	モッコク	ツバキ科	AA	6～7月	B
59	ヤブツバキ	ツバキ科	AA	2～4月	B
60	ヤマウコギ	ウコギ科	BC	5～6月	B
61	ヤマグワ	クワ科	BB	4～5月	B
62	ヤマブキ	バラ科	BC	4～5月	B
63	ヤマモモ	ヤマモモ科	AA	3～4月	B

【参考とした樹木図鑑】

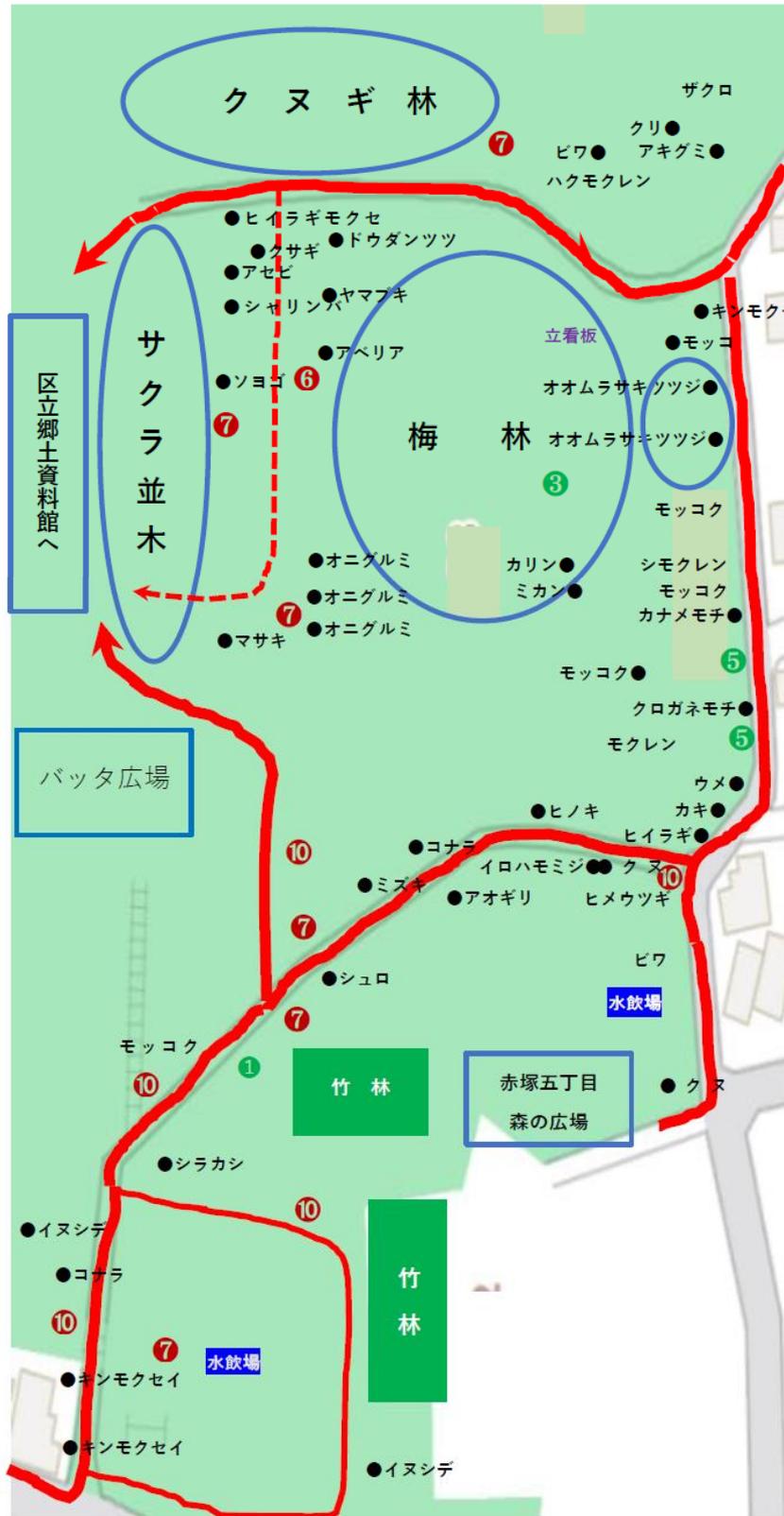
- ①「葉っぱ・花・樹皮でわかる樹木図鑑」 高橋秀男 池田書店
- ②「増補改訂版 葉っぱで調べる身近な樹木図鑑」 林将之 主婦の友社

樹木マップ 赤塚公園 (城址地区①)



赤塚公園植物モニタリング活動
24年1月現在

樹木マップ 赤塚公園（城址地区②）



- | |
|--------|
| ●常緑樹● |
| ①アオキ |
| ②クスノキ |
| ③シラカシ |
| ④シロダモ |
| ⑤ヤブツバキ |
| ●落葉樹● |
| ⑥カツラ |
| ⑦ケヤキ |
| ⑧トチノキ |
| ⑨ニワトコ |
| ⑩ムクノキ |

赤塚公園植物モニタリング活動
24年1月現在